

NAGATO 2014 壁画 PROJECT

見上げると笑顔になる。 天井を花いっぱいには彩りたい!

イタリア古典技法【ズグラフィート】天井画プロジェクト



「見上げると笑顔になる。高齢者施設の天井を花いっぱいには彩りたい！」
だれもおなじように老いの時を迎える。

佐伯を愛して佐伯の発展にご尽力された“人生の先輩たち”に感謝と敬愛の気持ちを込めて施設に
「お花でいっぱいの天井壁画を贈る」「ケアタウンながと」プレゼンツの
市民参加型壁画プロジェクトです。

原寸大の原画は、佐伯のこどもたち120名と、壁画家・佐倉康之が描きました。
こどもはエネルギーの源。未来を担うこどもたちの描く“お花畑”のトンネル。
それを現場で壁画にするのは佐伯市民有志(削り隊150名)のみなさんです。

完成した天井壁画を見上げ歩くと、きっと笑顔と元気が湧きあがることでしょう。

壁画家・佐倉康之



chararimpa

佐倉 康之 Sakura Yasuyuki

1967年、大分県生まれ。プレラ美術大学絵画科・イタリア政府給費留学。東京藝術大学大学院後期博士課程修了 博士号授与(藝大第64号博士)。アサヒビル芸術文化財団スカラシップ賞。久米桂一郎賞。サロンド・プランタン賞。ISCPアーティスト inレジデンスプログラムNewYork。天宣会壁画プロジェクト。御殿山フレスコ画のある家プロジェクト。他多数。

漆喰削画(ズグラフィート / sgraffito)

「引掻く・削り出す」事を「ズグラフィート」と言います。石灰マルタ(石灰+骨材混合)に描く方法を「フレスコ」と呼び、さらに石灰マルタを重ね、上の層を削り落として、下地の色で絵を描いていく技法が「ズグラフィート」です。表面の石灰水が顔料を吸って覆い、空気中の二酸化炭素と反応して透明に結晶化(カルサイト・鍾乳石化)した色彩は閉じ込められ、鮮度が永久的に退色しません。主に建築装飾として中世ヨーロッパで用いられてきた技法です。

壁画監修: 佐倉 康之(壁画家) 壁画制作: 伽羅琳パ壁画さくら組@佐伯+有志延べ300名(原画穴あけ作業含む)の削り隊! 企画協力: ルンビニ幼稚園、佐伯聖徳保育園、みのり幼稚園、佐伯カトリック幼稚園、大日保育園、岩田花店、うすき生花店、ばんどう生花店、花の店たなか 材料提供: 丸京石灰





1 原寸大原画の制作

佐伯市のこどもたち(約120人)と共に原寸大原画を制作。「お花畑をつくろう!」をテーマに、子どもたちは大きな手作りの筆を抱えて、力いっぱい描いてくれました。

2 転写用の穴あけ作業〔カルトナー / cartone〕

線香を使って、原寸大原画の輪郭に沿って点線になるよう連続した穴を開けます。他の方法だと穴の周囲の紙がめくれた状態で残るため、漆喰を塗った生乾きの天井に張り付けた時に型が付いて綺麗な線を映せないです。

3 下塗り(左官)とフレスコ彩色塗装〔フレスコ / fresco〕

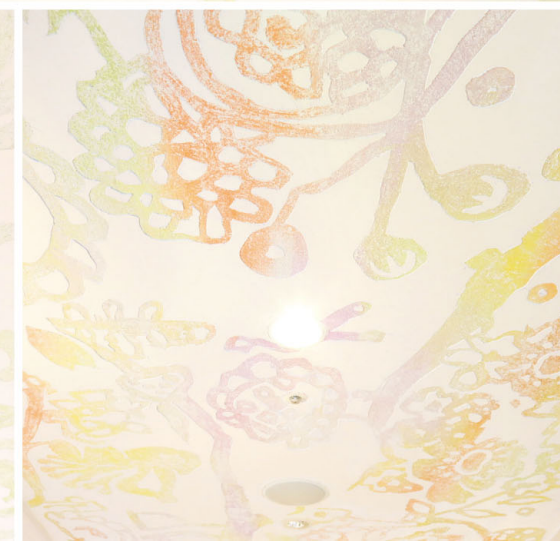
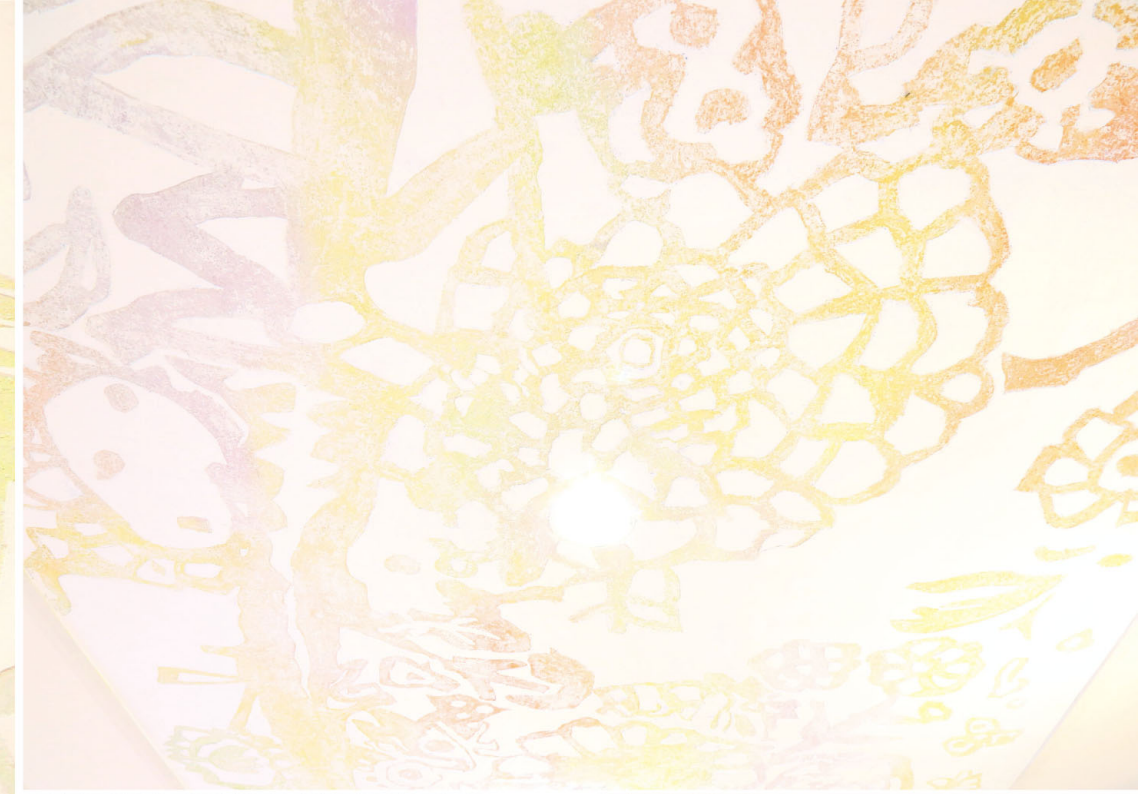
下塗りの漆喰が生乾きの状態時に水溶性顔料を染み込ませ彩色を施します。『黄金の時間帯』と呼ばれる最も吸収の良い時間帯にフレスコの醍醐味を感じます。

4 掻き出し、削り作業〔ズグラフィート / sgraffito〕

あとはひたすら削るのみ。表面が乾燥してくると堅くなってしまい削れなくなりますから時間との競争です。左官職人が上層石灰マルタを塗るやいなや追いかけるように作業を進めなければなりません。

見上げると笑顔になる。
天井を花いっぱいになりたい!

イタリア古典技法【ズグラフィート】天井画プロジェクト





ジャンピング削り隊!

NAGATO 2014 壁画PROJECT

photo: 潮尾 泰章 (PG COLLABO)